



議会だより



おもな内容

3月定例会	2
当初予算の審議	6
一般質問 (6人)	12
議会報告会・意見交換会	21
どっこい、この町に生きる	24

一般質問の動画はこちらから



にちなん十色の春が来た

4月1日スタートした「認定こども園」

令和
4年度
予算

移住定住の推進に新法人

一般会計予算67億9029万円 (対前年度 3億479万円増)

ここに注目

令和4年度 当初予算の主な事業

**日南病院開院60周年
記念シンポジウム**



85万円
テーマ「日南町の地域医療を考える」

新法人委託事業



7749万円
法人名「山里Loadにちなん」

デマンドバス交通システム関連



603万円
10月からドア・ツー・ドア運行を実施

地域活動支援交付金



600万円
自治会や班の活動の推進と安定的な運営を図り、活性化の一助とする(1世帯あたり3,000円)

トマト選果場改修補助事業



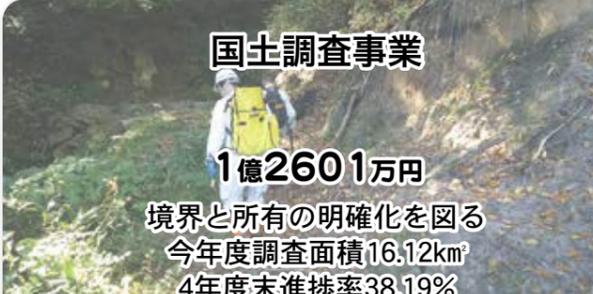
6098万円
トマト選果機を更新し作業効率の改善と労働環境の整備

米づくり応援特別補助金



2700万円
コロナ禍により経営の悪化した水稻農家を支援し、営農意欲の継続と集落環境の維持を図る

国土調査事業



1億2601万円
境界と所有の明確化を図る
今年度調査面積16.12km²
4年度未進捗率38.19%

日野上地域振興センター改修



1450万円
日野上地域振興センターのトイレを改修

今迄の観光振興事業と併せ、移住相談会や農林業フェアの参加、空き家見学会により移住定住者の増加を図るため、生山駅舎内に新法人を設置。相談員と相談窓口を設け移住者のアフターフォローと地域住民との連携の強化にも取り組み、住んでいる町民が豊かさを感じ、誇れる町づくりに向けて「しごと・まち・ひと」づくりを町政の柱として、SDGsの開発目標の推進と脱炭素社会への参加等、様々なビジョンづくりと実践を進めていくこととなりました。
そのために町民の皆様と共に想像し、デザインして課題に挑戦し次世代につなげていきます。

令和4年度 会計別当初予算額

会計	金額	前年度比較
一般会計	67億9029万1千円	3億0479万8千円
国民健康保険特別会計	6億1969万2千円	△2101万0千円
介護保険特別会計	8億9948万8千円	175万7千円
介護サービス事業特別会計	5832万2千円	364万9千円
後期高齢者医療特別会計	1億0479万5千円	1142万5千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	1201万5千円	9千円
簡易水道事業会計	2億4561万0千円	1499万7千円
下水道事業会計	2億5384万4千円	150万0千円
病院事業会計	13億6099万8千円	6761万5千円
合計	103億4505万5千円	3億8474万0千円

議決した主な議案

公の施設に係る指定管理者の指定
日南町高齢者生産活動センターの一部
指定管理者の名称及び住所
日南振興株式会社
代表取締役 浅川 佳紀
日南町下石見199番地2

イチイ荘及び山村広場
指定管理者の名称及び住所
キュービック
代表 矢田貝 ひろみ
日南町中石見407番地

日南町立認定こども園の設置及び管理に関する条例の制定
町が設置する認定こども園の設置及び管理並びに教育・保育の給付に關して定めるもの。
日南町立こども園の名称
にちなん十色
(議決議案は4ページに続く)

日南町議会の3月定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開きました。町長の令和4年度施政方針を受けた一般質問では、6人の議員が登壇し2日間にわたり町政運営に対し、課題や方向性など活発な議論を展開しました。
執行部から提案された、公の施設に係る指定管理者の指定、日南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正、令和3年度各会計補正予算、令和4年度各会計当初予算など全28議案は原案のとおり可決しました。
予算審査は、議長を除く9人の議員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、担当課から詳しく説明を受けるなど深く審議したうえで、審査意見を付して本会議に提出し最終日に可決しました。
再生可能エネルギー発電事業特別会計予算の修正動議が提出されましたが、否決しました。(審査報告は7ページに掲載)

議決したその他の議案

条例の改正

◆日南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
日南町非常勤職員の育児休業、部分休業の取得要件を緩和する。

◆日南町農林業担い手研修施設（イチイ荘）の設置及び管理に関する条例の一部改正
研修室（和室）を二室宿泊専用個室に改修したため、宿泊料を従来の宿泊専用と同じくする。

◆日南町消防団条例の一部改正
消防団の処遇改善のため費用弁償から出勤報酬へ変更し、増額する。

◆日南町消防団条例の一部改正
消防団入団年齢要件を20歳から18歳に変更する。

議会発議による条例の一部改正

◆日南町いきいき定住促進条例
定住奨励金において配偶者の規定を新たに設け、10万円を給付する。

日南町住宅改修助成条例

◆日南町意欲ある農業者支援条例
（以上3条例の有効期限を令和7年3月31日まで引き続き延長する。）

道路維持管理事業

4500万円



ロータリーによる除雪

町道・生活道及び県道除雪の実施見込みに伴う増額。

国土調査事業

3470万円

令和3年度国の補正を踏まえた事業費の増額。
3地区 1.67km²（茶屋1地区、霞2地区）

予防衛生一般事業

153万円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保及び接種対策に係る経費の増額。

町道の路線変更

◆町道内方線の路線を変更
町道内方線の起点を、日南町新屋竹ヶ鼻122-1から日南町新屋稲荷前2003に変更する。

工事請負契約の変更

◆日南町木材団地拡張造成工事
3億3654万円

契約の相手方
日南町丸山340番地1
サワタ建設・福岡組・大柄組・日南振興特定建設工事共同企業体
代表 サワタ建設株
代表取締役 澤田 信介
舗装工面積の変更等により1819万8400円減額する。



完成した木材団地拡張工事

工事請負契約の締結

◆町道滑線道路災害復旧工事
5368万円

契約の相手方
日南町下石見199番地2
日南振興株
代表取締役 浅川 佳紀
令和3年8月豪雨による道路災害の復旧を図る。
（工期 令和5年3月20日）

一般会計補正予算

◆財政管理事務
5億7865万円

地方交付税の最終確定額により、既計上済の基金繰入並びに臨時財政対策債等を減額し、余剰金を基金に積み立てる。
・公共施設等建設基金積立 2億3343万円
・財政調整基金積立 3億4522万円

公共土木施設災害復旧事業

2076万円

令和3年8月及び秋雨前線豪雨の災害査定事業費決定による。

路線名	件数
滑線	3
三国山線	1
生山印賀線	2
桜子宮田線	1

耕地災害復旧事業

2682万円



農地の大規模災害

令和3年に発生した7月豪雨、台風9号、8月豪雨災害の災害査定事業費決定による事業費の精査。及び激甚災害指定に係る補助率の嵩上げによる。
（町内32カ所）

橋梁修繕設計委託業務

700万円

国の道路メンテナンス事業補助金補正を踏まえ、愛宕橋（上石見）の橋梁修繕設計委託業務を行う。

事業者応援たつたもポイント

4230万円

新型コロナウイルスの感染拡大による影響が長期化するなか、疲弊する町内事業者を支援するため、『たつたもカード』を活用し、町民全員に10,000ポイント（1万円相当分）を付与することにより、町内経済循環を促進させていく。



たつたもカードで買い物しよう

国民健康保険特別会計補正予算

4503万円

◆病院運営整備事業
特別調整交付金（直診特別分）の経営合理化分の最終見込み精査による増額

病院事業会計補正予算

医業費用

935万円

新型コロナウイルス感染症対策による、ユニフォーム・寝具等の賃借料、検査件数、3回目のワクチン接種医師委託料の実績等見込みによる増額。



感染対策のユニフォーム

第2回定期監査の報告（要旨）

3月22日に監査委員から、定期監査の報告がありました。

代表監査委員 藤森高善
監査委員 岩崎昭男

1、備品購入費の執行について

今回、各課の備品購入費の執行状況について調査したところ、備品購入契約締結日と同時に財務会計システムへの支出負担行為の入力処理が行われていないものが散見された。なお、このことは以前の定期監査で指摘した事項であるが、再度周知されたい。

また、特別な事情がない限り、早期予算執行により購入備品の有効活用を図りたい。

2、リモートワーク等に係る関係例規の見直しについて

新型コロナウイルス感染症対策として分散勤務やリモートワーク用機器及びネット環境の整備が行われ、職員は庁舎内で勤務せずとも、自宅や庁舎外の会議室などで業務を行うことが可能となった。これにより、試行的ではあるが複数の職員が自宅でのリモートワークを実施することができた。

また、このことは、育児や介護などの時間的制約を抱える職員を含め、職員一人ひとりが多様な働き方を実現できる「働き方改革」へと展開できる可能性を示すものでもある。

職員の勤務については勤務時間や休憩時間、出勤簿の記入（タイムカードへの刻印）などが「日南町職員の勤務時間、休暇等に関する条例」や「日南町職員服務規程」等により定められているが、これらの例規をリモートワーク等へも対応するなど、実態に合わせ見直しを図りたい。

令和4年度当初予算の審議にあたり、本会議および予算審査特別委員会で質疑を行いました。

基金の運用

問 SDGs債での運用は、都市再生機構と国際協力機構の社会貢献債をそれぞれ1億円ずつ購入している。令和4年度も信頼できるSDGs債の購入を検討する。

山陰合同銀行の移転

問 庁舎内へ移転するための予算は。

答 具体的な内容を整理するのに時間が必要。改めて予算化する。

職員の採用

問 行財政改革で採用方法を見直すところがあるが、即戦力となる職員の採用は。

答 専門性のある職種への応募がない。見直しを検討している。

職員の研修

問 住民からの申請書類が3カ月間放置されるなど事

務遅滞がある。ファイリングシステムが機能していない。

答 ファイリングのあり方を徹底する。

問 研修の中で重点を置く取り組みは。

答 民間企業に講師を依頼するなど工夫している。オンラインも利用し受けるよう指示している。

企画課の業務

問 移住定住の業務を新法人へ委託するが、企画課の業務はどう変わるのか。

答 デジタル化事業などへ重点を移す。

自立改革推進本部

問 位置づけが規則になく、本部長が副町長だが、実質的には企画課の業務になっている。

答 今後整理する。

河川の水質検査

問 セントラルファーム農

場が費用負担するのは臨時検査だけか。

答 原因の特定できる臨時検査は農場が負担する。

問 定期検査も臨時も汚水問題がなければ必要なかったのでは。

答 令和3年度は臨時分を農場負担とした。4年度どうするか協議する。

おでかけタクシーチケット

問 中心地から遠い地域で使いにくいと不評。商品券としても使えればより公平なのでは。

答 令和4年度は現状のまま継続する。10月からドア・ツー・ドア運行が始まりタクシー同様の利用形態がとれる。

農業振興費

問 農業の将来ビジョンに向けた全体計画に基づいた予算か。

答 将来ビジョンの方向性に基づいた予算である。

問 全体計画を作るのか。計画を作るよう進める。

eスポーツイベント

問 観光振興対策事業でなくタウンズネット管理運営事務とした理由は。

答 観光協会等への委託とせず、行政が主体的に運営するため。



eスポーツのイメージ

コミュニティスクール

問 学校運営にこれまでとの違いは。

答 これまでは校長が変われば教育方針が変わった。今後は運営協議会で方針を話し合い、継続性のある学校運営ができる。

教員住宅

問 教員住宅の管理を教育課から建設課へ移管すると

の説明があったが、補正予算で対応する。

福祉保健課の統合

問 行財政改革で本庁舎へ統合を検討するとなつているが。

答 引き続き検討する。

日南福祉会の負担

問 利益の2割を町に支払うとのことだが、金額は決算で調整するのか。

答 福祉会の令和3年度決算が5月頃確定する。それを待って金額を算出する。

問 福祉会の決算が赤字なら全額免除か。

答 その通りである。

水道料金

問 利用料金を据え置きしているが今後の方針は。

答 令和4年度に今後の推移を試算し、方針を決める。

日南病院の看板

問 屋根の看板の照明が暗い。予算にある屋根の改修とあわせて改修しては。

答 必要なら補正予算で対応する。

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、令和4年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長 近藤仁志）を設置、令和4年3月4日から14日まで7日間開催し、付託

された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受け、慎重に審議を行いました。その結果、いずれの予算も次の意見を付して原案を可決すべきと決定しました。

審査意見

予算編成の取り組み

令和4年度予算編成方針において、第6次総合計画第2期総合戦略をはじめ各種計画との連動と整合を図るよう指示されているが、行財政改革実施計画、公共施設等総合管理計画個別施設計画は、ほとんど予算に反映されていない。

再生可能エネルギー発電事業特別会計においては、導水路の修復工事の遅れにより発電再開が遅れるにもかかわらず、通常年どおりの売電収入が計上されており、妥当性に疑念を抱く。各種計画の位置づけと当初予算の意義を再認識され、適正な算出根拠に基づいた予算編成にされたい。

地域おこし協力隊



地域おこし協力隊の任命式

新たに6人の地域おこし協力隊員の採用を予定しているが、いまだ4人の採用見込みは立っていない。

採用の遅れは、新年度予算成立前に隊員の募集をできないことが主な要因であるが、前年度に地域おこし協力隊員募集に係る経費を債務負担行為により担保するなど、円滑な隊員採用を図られたい。

環境保全対策事業

①抜本的なごみの減量化と二酸化炭素の排出削減等につながる方策を幅広く検討し、町の環境基本計画に沿った取り組みをされたい。②セントラルファーム鳥取農場の汚水処理問題は、事業者の改善に向けての姿勢が見られない早急な解決を求める。また、泡、濁り等の発生時の臨時検査費用については、事業者が負担すべきである。

企画一般管理事務

行財政改革実施計画（令和2年度～6年度）は取り組みが十分と言えない計画期間の中間年にもあたることから、取り組みの検証を行い、実施計画の達成に向けて鋭意努力されたい。

電算管理運営事務

令和3年度にホームページをリニューアルされたが、更新頻度、掲載内容が不十分である。各課の連携を強化され、SNSの有効活用を含め町民及び町外の人たちに向け、魅力や取り組みが伝わるよう充実した情報発信に努められたい。

青年結婚・Uターン促進事業及び観光振興対策事業

観光振興事業と移住定住業務を担う一般社団法人を立ち上げ、77,493千円の委託料が予算に計上されているが、人員体制がいまだ整っていない。

業務の進捗を共有し、効果的かつ有効的に委託業務が遂行されるよう指導されたい。

公共交通確保総合対策事業

デマンドバスのドア・ツー・ドア運行が年度中途の10月から実施されるが、利用しやすい予約、運行システムを準備され、住民に仕組みや制度を丁寧に周知

されたい。

森林保全総合対策事業

J-クレジット販売量が大きく伸びている中、保有量は令和4年度中になくなる。町有林のJ-クレジット取得を早急に申請すべきである。

仲介手数料を引き上げる予算となっているが、この時期の変更に疑問を感じる。手数料の据え置きにむけての交渉を行うべきである。また、道の駅へのJ-クレジットの寄附はやめるべきである。



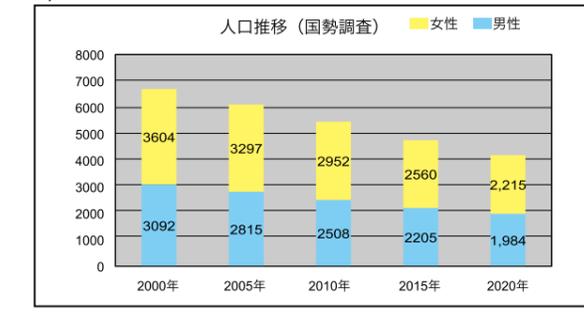
J-クレジット認証を受けている町有林



町有林
問 立木売却収入の減額要因は。
答 町有林の皆伐新植で落札されなかったため。
問 入札の今後の対応は。
答 令和4年度に設計を見直して進めていきたい。
問 皆伐新植10ha、間伐42.6haの当初予算であるが、現在の入札状況は。
答 1件だけ入札不成立で、他は事業が進んでおり年度内に完了する。
問 ナラ枯れの委託料が227万円全て減額されているが。
答 町内事業者と検討する中で、事業的に令和3年度夏に枯れたものしか対象にならないため、実施できなかった。
問 多面的機能支払いが年度中途に大きく減額になっているがなぜか。

令和3年度補正予算の質疑を行いました。

山腹水路の長寿命化
問 大きな面積の変更はないが、長寿化事業の県からの配分が7割に減額となった。
答 金融機関への手数料が大きく減っているが、クレジットカード収納の実態とそれに係る経費についての説明を。
答 クレジットカードを使用される方は、10人前後で固定化している。経費は、収納金額の15%に決まっております。



地方交付税
問 地方交付税が大幅に増額されているが、国の地方財政計画全体の中でどういう流れになっているのか。一方で臨時財政対策債は減らされている。
答 町にとって一番の財源となる地方交付税。国勢調査の結果、人口減少に伴い地方交付税が下がる年ではあるが、前年並みを確保していた。国の財政も厳しい中、地方財政への支援がいただけた。
問 たったもカードの10,000ポイント付与をどのように知らせるのか。
答 防災無線やちゃんねる日南で周知を図りたい。
問 その他の方法は。
答 個別の通知は検討中であり、商工会と連携しながら進めていきたい。
問 3月2日現在でどれくらいポイントを使用しているのか。
答 確認できていないが、最初の3日間で100万ポイント程度。
問 たったもカード加盟店の端末使用料負担が、月額1,210円である。町が負担すべきでは。
答 この件は把握している。4月以降は各店舗の経営努力に転換されるし、消費者にも影響があるかもしれないので検討する。

青年結婚Uターン促進事業
問 青年結婚Uターンの負担金が半分以上減額されているが、執行できなかった理由は何か。
答 空き家リノベーション補助金500万円、生山分譲地補助金250万円を皆減。住宅改修補助金の申請が少なかったため、大幅減となった。
問 森林成長化産業モデル事業で木育関連、ワークショップが開催されなかった原因は。
答 当初全体で1億円の予算が付く予定であったが、モデル地区も増えてソフト事業の減額があり、町が行っている事業よりも町内企業や新規に木材事業を起す事業の試験や研究費を優先した。



小学校の木育授業

たったもカード

森林成長化産業モデル事業

一般会計

反対 久代安敏議員
 会計年度任用職員の処遇改善がなされていない。人権施策は、特定の地域に補助金を充てていて公正な人権施策になっていない。

賛成 坪倉勝幸議員
 全体として各種町づくり計画に沿った施策を推進しようとする予算となっていない面があるが、町民生活や社会経済の推進に必要な予算が盛り込まれている。

国民健康保険特別会計

反対 岡本健三議員
 未就学児の均等割の半額が免除されるが、システム改修の費用が高額である。この際18歳以下のこどもの均等割を全額免除すべきである。

賛成 大西 保議員
 医療費無償化など全体として18歳以下の負担軽減はされている。運営協議会などで議論されており税の公平性からも妥当である。

介護保険特別会計

反対 岡本健三議員
 介護職員の処遇改善のため10月から介護報酬が上がり、介護利用料も上がる見込みである。基金の活用などで利用料の値上げに歯止めをかけるべき。

賛成 荒木 博議員
 介護保険事業計画に即した予算となっている。保険料は県内で1番低い水準であり、低所得者に対する減免措置もある。

後期高齢者医療特別会計

反対 久代安敏議員
 75歳以上の高齢者を仕分けする制度は世界に例がない。今年10月から医療費が2割に引き上げられ、高齢者の負担が増える。この制度自体に反対である。

賛成 近藤仁志議員
 高い保健医療制度を維持するために国民皆保険制度の中で、少子高齢化が進めば現役世代の負担が増えてくるが、世代間の負担割合が明確になっている。

再生可能エネルギー発電事業特別会計 修正案

反対 櫃田洋一議員
 12月に予算編成され、補正予算で対応するとのことであり、あえて修正案まで求めるものではない。

賛成 久代安敏議員
 工事のため、半年の売電収入が見込めない中で1年間の売電収入を計上しており、地方財政法に反する予算である。

再生可能エネルギー発電事業特別会計

反対 岡本健三議員
 導水路修繕工事を9月末までの繰越を認めており、その間発電ができない。それに反して1年分の売電収入が計上されており、歳入に不足が生じることが確実である。

賛成 岩崎昭男議員
 執行部は補正予算で対応している。歳入欠陥になっても基金からの繰り入れで担保できる。

○令和4年度 当初予算の賛否内訳 (賛否の分かれたもの)

件名	結果	大西	岩崎	櫃田	久代	近藤	荒木	古都	岡本	坪倉	山本
		保	昭男	洋一	安敏	仁志	博	勝人	健三	勝幸	芳昭
一般会計	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
国民健康保険特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
介護保険特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
再生可能エネルギー発電事業特別会計 修正案	否決	×	×	×	○	×	×	×	○	○	-
再生可能エネルギー発電事業特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	○	×	×	-

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

非難決議を上げるとともに、支援金を送りました

日南町議会では「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」をするとともに、早期にウクライナの和平と復興が叶うことを願って支援金を、4月11日、日南町社会福祉協議会に託しました。



山本議長から中村秀人会長へ

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議

令和4年2月24日に始まったロシアのウクライナに対する軍事行動は、力により他国の主権及び領土の一体性を侵害するものであり、武力の行使を禁ずる国際法及び国連憲章の重大な違反行為である。また、軍事侵攻に際し、核兵器の使用を示唆するような発言は言語道断である。

ロシアの侵略行為は、国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態として、我が国の安全保障の観点からも決して看過できず、日南町議会として厳重に抗議し強く非難するとともに、ロシア軍が即時に完全かつ無条件で撤退することを強く求める。

また、政府においては、国際社会と緊密に連携し、ロシアに対して毅然とした姿勢を示し、世界の恒久平和実現に向けて対応するよう要請する。

3月定例会で意見書を採択し、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました 令和4年度水田活用の直接支払交付金に関する意見書(要旨)

令和4年度農林水産省予算に係る米政策においては、主食用米の需給安定を図るため、戦略作物助成や産地交付金などの支援を行うことが予定されている。しかし、水田活用の直接支払交付金の適用ルールの見直しや厳格化などにより、主食用米の需給のみならず、大豆やそば、野菜などといった転換作物の需給にも影響し、営農計画や地域の農業振興・再生計画の変更が迫られ、農業所得の減少等も懸念されるので次のことを強く要望する。

記

1. 令和8年度までに水張りが行われなくとも交付対象水田とすること。
2. 水田活用の直接支払交付金の適用ルール厳格化により除外された農地に関しては、別途、財政的支援を設けること。

3月定例会審議結果

○可決した議案

□…賛否の分かれたもの(審議結果は8ページに掲載)

令和3年度補正予算	一般会計補正予算(第8号)	令和4年度当初予算	一般会計予算
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		国民健康保険特別会計予算
	介護保険特別会計補正予算(第4号)		介護保険特別会計予算
	介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)		介護サービス事業特別会計予算
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		後期高齢者医療特別会計予算
	再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算(第2号)		再生可能エネルギー発電事業特別会計予算修正案
	簡易水道事業会計補正予算(第3号)		再生可能エネルギー発電事業特別会計予算
	下水道事業会計補正予算(第2号)		簡易水道事業会計予算
	病院事業会計補正予算(第4号)		下水道事業会計予算
一般会計補正予算(第9号)	病院事業会計予算		
制定の条例の一部改正	日南町立認定こども園の設置及び管理に関する条例	発議	日南町意欲ある農業者支援条例の一部改正について
	日南町職員の育児休業等に関する条例		日南町住宅改修助成条例の一部改正について
	日南町農林業担い手研修施設の設置及び管理に関する条例		日南町いきいき定住促進条例の一部改正について
	日南町消防団条例		令和4年度水田活用の直接支払交付金に関する意見書提出について
その他	町道の路線変更について	否決した議案	ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議
	公の施設に係る指定管理者の指定について(日南町高齢者生産活動センター)		○否決した議案
	公の施設に係る指定管理者の指定について(日南町農林業担い手研修施設イチイ荘及び日南町山村広場)		発議
	工事請負契約の変更について(日南町木材団地拡張造成工事)		反対 岩崎昭男議員 国に制度創設を求める前に町内の実態調査をすべきであり、意見書提出は拙速である。 (大西、岩崎、櫃田、荒木、古都)
工事請負契約の締結について(町道滑線道路災害復旧工事)	賛成 近藤仁志議員 健康で長生きをしてもらうためにも、そのきっかけとなる補聴器購入補助制度の創設を求めるべきである。 (久代、近藤、岡本、坪倉)		

陳情の審査結果と討論

提出のあった陳情は、3月定例会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。なお、賛成・反対とあるのは、陳情の原案に対する討論と採決の結果です。

令和4年陳情第1号	提出者	審査意見	本会議
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取市末広温泉町211 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	最低賃金を全国一律1,500円に引き上げることは、地方や中小企業への影響が大きくなり、また混乱を招く。最低賃金を上げるには、まず日本全体のGDPを上げ、経済力を高める必要があると考える。	不採択
反対 古都勝人議員 コロナ禍で倒産する企業があるなかで一挙に大幅な賃上げは無理である。最低賃金を上げることも大事であるが、雇用を守ることが必要ではないか。 (大西、岩崎、櫃田、近藤、荒木、古都、坪倉)	賛成 岡本健三議員 低賃金のエッセンシャルワーカーの7割が女性であり、男女の賃金格差は正につながらず、中小事業者の社会保険料負担の助成など、本格的支援で実現できる。 (岡本、久代)		

町政のここが聞きたい

問 指摘事項の改善工程表の提出期限はいつか

答 3月末と会社に伝えている



大西 保 議員

問 山頂眺望確保事業は

答 国有林のため整備に至っていない



檀田洋一 議員

問 再流出汚水の検査結果は、水質汚濁防止法の2倍以上の数値であるが、どう認識されたか。

答 2月1日、社長に文章にて対応の回答を求めた。

問 1月27日小原川に泡、濁りが発生した。調査の結果、雨水排水溝より汚水が流れていた。町はどのような対応をしたのか。

答 浄化槽の管理は1月5日に専門業者と契約、農場長の着任は難航している。

問 町長が12月2日会社に報告を求めたが結果は。

答 3月末と会社に伝えている。

問 令和3年10月27日の立ち入り調査の指摘事項の改善工程表の提出期限はいつか。

答 セントラルファーム鳥取農場の水質改善工程表



日南町側の整備が求められる猿隠山山頂

問 2021年3月に作られたパンフレットに、トレッキングと『古事記』を同時に楽しめる山とある。時間がかかっても許可を得て整備するべきでは。

答 島根県安来市の東比田地域の皆さんが年1回の草刈りと猿隠山山頂の眺望確保を行なわれている。鳥取県側は国有林のため整備に至っていないが、今後整備の在り方を検討したい。

問 御墓山から猿隠山ルートハイキングコースがある。頂上の整備を求める声が近隣を含め多数あるが、整備状況は。

答 中村町長

問 町からの報告に対し県はどのような対応をされたか。



小原川合流地点

答 現状を確認しただけだ。これからの在り方が大事と思っている。

問 2月4日に会社より「環境事故報告書」の提出があったが、原因、事故後の対応について納得されたか。

答 国の基準を超える数値であったことが、特に問題と思っている。

問 移住定住者の家族構成や属性によって重視する点が異なりターゲットに合わせた対策が必要では。

答 町長

問 眺望確保は重要であるとの認識から今後地元の方々と意見交換しながら進めていきたい。



猿隠山山頂より島根半島を望む

問 当面は、日南町森林組合所有のクレジットの紹介や共同での販売等を検討している。道の駅への寄付については検討中である。

答 町長

問 不足になる事は以前より指摘していた。道の駅への年約180tの寄付はできなくなるがどうするのか。

答 町長

問 令和3年度末の残保有量、令和4年度の販売目標は何tか。

答 町長

問 昨年の6月以来会談をされていない。決定権のない担当者では進展がない。早急に話し合いを求めたい。

答 町長は社長と早急に会談すべき

問 県内でもリモートワークの会議が多く利用しやすくなった。今後もリモートワークの環境が活用されていくと考える。さらにJクレジットの取り組みの中で様々な企業との幅広い関係作りを強固にしていく中で進めている。

答 町長

問 全国の自治体が「テレワーク移住」歓迎を打ち出している。移住・定住のきっかけ作りとしてリモートワークが出来る環境が必要では。

町政のここが聞きたい

問 移住定住と観光を担う
新法人の設立は

答 4月から新体制で開始する



岩崎昭男 議員

問 環境配慮型農業に
くん炭の活用を

答 有機農業との
位置付けとして検討する



近藤仁志 議員

答 町長
令和4年度の地域おこし協力隊員の採用予定者数、任務内容及び隊員の住宅確保の状況は。

問 地域おこし協力隊
予算成立後、各自治会等への周知を行う。申請は4月上旬頃、交付決定・支払いは5月下旬頃を想定。

答 町長
今後の交付金の交付スケジュールは。

問 交付スケジュール
試算によると、総班数202件、増額となる班は136件、減額となる班は66件である。

答 町長
納税奨励金と地域活動支援交付金の増減は。

問 納税奨励金との比較
活動支援については、概ね了解されたものと認識している。施設管理費の支援要望は、別の制度として今後検討する。

答 中村町長
交付金制度設計に住民意見は反映されたのか。

問 地域活動支援交付金
まずは勉強をして更なる取り組みにつなげたい。

答 町長
脱炭素社会経営を評価され総務省よりふるさと大賞を受賞した自治体として、次のステップにチャレンジする責務があるが。

問 ふるさと大賞の受賞
「みどりの食料システム戦略」による持続的生産基盤の構築、食を通じた雇用や所得拡大、SDGsや脱炭素社会における環境配慮型農業。

答 町長
持続可能な農業生産を維持・発展させる取り組みとは。

問 持続可能な農業生産
農家数の減少や少子高齢化が進み非常に厳しい状況が続いている。今やるべきことは担い手農家（認定農業者等）を中心に支援策を進め、後継者の育成が急務である。

答 中村町長
日南町農業の現状についての認識は。

問 日南町農業の現状
大規模農家は地域の高齢化により規模拡大による粗穀の処分（くん炭）して農地に還元することでCO2排出削減となり、「環境保全型農業直接支払交付金」の加算となる。またくん炭の農地施用によるJクレンジット認証の取り組みも始まっているが。

答 町長
有機農業と循環型農業を考える中で位置付けとしてあると考えるので、意見をいただき検討し方向性を出したい。

問 環境配慮型農業
多くの提案が寄せられ、各部門で成績と内容が公開されたがこのコンペの狙いは。

答 町長
門構えのある、歴史ある大きな建物で活用イメージの提案を受けた。鳥取県のモデル事業を活用し、建物診断調査を行った。建物の配置など改修をする場合の知見をいただくとこれはこれらから。

答 町長
内部で精査を行っている最中であり、今年度中の公表を行う予定である。

問 情報化推進施策
情報化推進計画では、定めるアクションプランの策定状況は。



活動を始めた新法人「山里Load にちなん」

答 町長
職員の求人募集を行っている。今後、観光協会の理事会を経て法的手続きを行い、4月から新体制として開始するため、鋭意取り組んでいる。

問 新法人の設立準備状況
農業研修生2名が内定しており、町内住居を確保している。その他、チャレンジ起業地域おこし協力隊員など4名を募集中。

答 町長
移住定住を推進・サポートする新法人の準備状況と今後の動きは。

問 DX推進チーム設置目的と取り組み状況は。
人口減少は、自然動態の減少が大きな要因であり、それに伴い町民所得及び経済循環規模も縮小している。所得の向上は重要課題であり、チャレンジ起業地域おこし協力隊を募集し、新たな職種への取り組みを応援する。

答 町長
本町の人口減少の大きな要因は、経済基盤の脆弱さが起因していると考えられるが。

問 経済基盤の強靱化
様々な考え方の中に意向調査的な方法もあるので、ベストなやり方を引き続き検討したい。

答 町長
みであること、そしてたまたまいと雰囲気、歴史などに共鳴される方を募集し、その活用内容に沿った支援を考えるのが手順ではないか。

問 キャッシュレス事業
2月22日からキャッシュレスシステムの運用が開始されたが、利用状況と町民の反応は。

答 町長
令和元年度以降、解消は大きく進展していない。県・県下全市町村で構成するデジタルレイド部会や、日南町DX推進チーム連携企業、各キャリアへの働きかけなど改善に努めていく。

問 携帯電話不感地域解消
令和元年度時点では3地区7集落が不感地域であった。その後の解消に向けた動きは。

答 町長
情報化推進計画の遂行を組織全体で取り組むために設置した。アクションプランの精査、重点事項の共有、ホームページ改善などに取り組んでいる。

問 DX推進チーム
DX推進チーム設置目的と取り組み状況は。

答 町長
人口減少は、自然動態の減少が大きな要因であり、それに伴い町民所得及び経済循環規模も縮小している。所得の向上は重要課題であり、チャレンジ起業地域おこし協力隊を募集し、新たな職種への取り組みを応援する。

問 経済基盤の強靱化
様々な考え方の中に意向調査的な方法もあるので、ベストなやり方を引き続き検討したい。



春を待つ 旧木下家

町政のここが聞きたい

問 水田活用交付金の引きはがしは許せない

答 農地の荒廃が進まないよう国に見直しを要望する



久代安敏 議員

問 給食に有機・減農薬農産物を

答 環境と健康に配慮した農産物を使っていく



岡本健三 議員

答 町長
国の水田農業施策は、毎年のように水田活用の直接支払交付金の内容が変わり、生産者は経営計画が立てづらいため、農水省は令和4年度から令和8年度までの5年間のうち一度も水張りしない農地を交付金の対象としない方針で、対象農地から外れることで農地の荒廃が進む恐れがあるため、見直しについて要望等対応する。

問 水田活用交付金
日南町の令和4年度産米の作付けは、水田面積1,163haの内、生産目標面積は715haで、作付率は61.4%で約4割の転作である。政府は「水田活用直接支払交付金」の見直しを行うとしているが、食料自給率向上にも逆行する。

答 中村町長
コロナ交付金を活用して令和4年度産米の作付け支援金として10aあたり4千円の支援を行うという事とし、日南町全体で2千7百万円の予算を計上している。

問 米価暴落対策と水田農業
鳥取西部農協代表理事組合長は、令和3年度産米の米価下落にともなう農家への支援要請をしているが、その対応は。

答 事業管理者
日南病院開設60周年記念シンポジウム開催を提案する。

問 学習講演会
日南病院の事業運営方針を地域全体で共有するために、学習講演会の開催を提案する。

答 中曾事業管理者
総合医マインドを持った診療を中心として多職種連携と地域包括ケアシステムを推進し、地域の実状にあった診療体制の在り方を検討していく。

問 日南病院
3回目のワクチン接種が進む中、自治体病院をどう再生、発展させるのか、その展望を。

令和3年度実績 主要な転作物 単位ha			
作物名	面積	作物名	面積
大豆	4.2	トマト	8.5
飼料作物	12.3	白ネギ	8.1
新規需要米 ※	15.9	ピーマン	5.5
そば	92.5	ブロッコリー	2.4
地力増進作物	11.0	自己保全管理	53.5

※飼料用米など

答 町長
ホームページの充実などさらなる情報発信に努める。

問 移住定住促進
新型コロナウイルスの感染拡大で若者の地方への移住に関心が高まっている。今こそ移住定住の絶好のチャンスだと考えるが。

答 青戸教育長
園児・児童生徒、教職員への定期的なPCR検査は実施していない。無症状で感染等の不安がある方には、県が実施している無料のPCR検査を受けるよう指導している。

問 学校などの検査体制
オミクロン株が急速に拡大する中で鳥取県は無料の検査を行っている。日南町も日南病院で無料のPCR検査を提案するが。



未来を担う子ども達へ安心・安全な食べものを

答 町長
町が推奨すると販売に圧力がかかる。推奨できるかを含め、勉強会などで考えていく。

問 代替農業
例えばカメムシ防除ではトレボンが非ネオニコチノイド系である。町としてこういったものを推奨しては。

答 中村町長
国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、県や生産者団体などと歩調を合わせ検討する。

問 介護職賃上げの財源
補助金の対象とならない10月以降、介護職賃上げの財源は。

答 木下総務課長
一般職と同じ考え方で改定する。会計年度任用職員も資格があれば一定の格付けをしている。

問 保育士の給与
約半数が給与の低い会計年度任用職員だが、補助金申請しなると人事院勧告0.9%減で給与も下がるのでは。

答 町長
介護分野においては、計画書を提出予定。学童、保育分野は、申請する予定はない。

問 給食に安全な農産物を
保育園や学校の給食に使う米や野菜をネオニコチノイド系農薬などを使用しない有機あるいは減農薬としては。

答 町長
仕組みとして、支給は可能である。運用として、国の方針をベースに取り組みたい。

問 待遇差を縮めては
誇りとやる気をもって職務に望んでもらうためにも、住居手当、扶養手当などを支給し差を縮めるべき。

答 町長
制度の趣旨に沿って職責や負担を考慮した給与を職種別に定め対応している。

問 会計年度任用職員の待遇
勤続年数が長い職員も多く、サービスの宣誓をして責任も正職員同様に負わされるのに、休暇、手当など待遇の差をつける根拠がないのでは。

答 町長
介護報酬が上がると利用料も上がる。その分を町で補助しては。

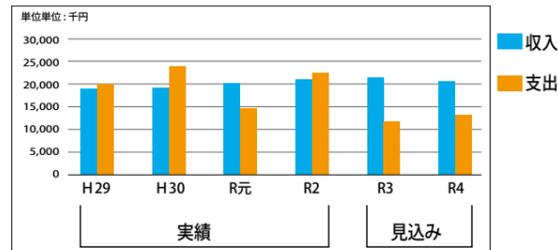
住宅政策及び中心地域調査特別委員会 1月21日・3月18日

町営住宅等の建設費（投資的経費）及び地方債の償還額を含む収支状況（建設課）

投資的経費（単位：千円）

- ・町営住宅 5団地47戸
建築総額 516,490 修繕総額 13,571
- ・特公賃住宅 5団地30戸
建築総額 318,531 修繕総額 16,314

収支状況（住宅管理事務で支出しない地方債の償還額も含む）



民間活用住宅整備事業実施計画（建設課）

目的

賃貸住宅を民間の資金力・技術力・経営力等を活用して、移住定住施策を推進する。

建設予定地

- ・場所 日南町霞931番・931番1・932番2
- ・面積 591.24㎡

整備の規模

- ・住宅は4戸以上（世帯用2LDK又は3LDK）
- ・住宅戸数に応じた駐車場（2台/1戸程度）
- ・供用開始は、令和4年中の供用を目標

移住定住に係る空き家の活用事例と今後の取り組み方針（企画課）

令和元年より3年間、UIターン者にアンケート調査を実施、サンプル数はまだ少ないが見えてきた傾向の説明を受けた。

- ・UIターン者の転入時年齢20歳～40歳の方が多い（Uターン39%、Iターン47%）
- ・空き家活用事例
相談件数 125件、入居契約 26件、内購入件数 8件、移住者 39人

新法人設立に向けての状況（企画課）

一般社団法人「山里Loadにちなん」に決定

目的

移住や定住を促進する事業、空き家等の遊休施設を活用する事業、地域企業への人材確保など雇用に関する事業、地域資源を活用した観光の振興を図り、地域活力の増進に寄与する。

賃貸、購入につながる物件の特徴

- ・家の状態が良い（即入居可能である）
- ・水回りがきれい（水洗トイレ）
- ・幹線道路沿いが望まれる 等々

今後の取り組み方針

- ・今すぐ住める空き家の確保
- ・各地域の空き家の状況の把握

総務教育常任委員会 1月19日・3月15日

日南町いきいき定住促進条例（企画課）

定住奨励金については配偶者の規定を新たに設け、10万円を給付する。交付要件については、現行の通りとすることとなった。有効期限を令和7年3月31日とする。

日南町住宅改修助成条例（住民課）

条例の内容は現行のままで、有効期限を令和7年3月31日とする。

新日野上小水力発電所の現況調査（住民課）

新日野上小水力発電所のラバー堰破損部分の改修が11月に完了したとの報告を受けた。また、令和3年度の発電及び売電額の実績報告を受けた。

新石見小水力発電所の現況調査（住民課）

新石見小水力発電所については、鳥取県発注の落石防護ネット工事が本年3月に完成した。今後、町が水路及び法面の工事を9月末予定で実施するとの報告と工事の施工内容の説明を受けた。

また、令和3年度の発電及び売電額の実績報告を受けた。

委員からは、導水路の全面改修の検討をしようか、改修費用等多額の費用が発生しているが今後の維持管理を含め経営の試算表を作成すべきではないか等の意見があった。



壊れている導入路

経済福祉常任委員会 1月20日・2月10日・3月15日

日南町意欲ある農業者支援条例（農林課）

条例の内容は現行のままで、有効期限を令和7年3月31日とする。

（3年の営農計画を達成していれば、さらに3年間の営農計画に対して助成を行う。）

水田活用の直接支払交付金の見直しについて（農林課）

令和4年度から条件の厳格化により交付対象の農地や交付金の見直しが行なわれることに対し、運用の緩和や財政的支援を求める意見書の取りまとめを行った。

町発注工事の実態調査（建設課）

- ・町民より調査依頼のあった4件の工事について、総括監督員（建設課長）より調査結果と再発防止策について報告を受け調査を行った。
- ・調査の結果、不備な点はあったが総括監督員の指示により改善されていると判断した。

委員会の意見

町発注工事に対して、監督員は平素より基本は現場である事を認識して、現場全体をしっかりと見るなど適切な監督業務の遂行を徹底されたい。また、請け負った事業者は工事契約を遵守し自覚を持って元請けとしての責務を果たされたい。



工事現場事務所



(株)オロチのスクーフコンポーザー

- 令和3年度補正予算
臨時特別給付金事業
1億224万円
- 住民税非課税世帯等に10万円を給付
- 子育て世帯に5万円を給付（2回目）
- 道路維持管理事業
1億2200万円
- 除雪経費の増加に伴う委託料の増
- 木材産業競争力強化対策事業
7000万円
- (株)オロチのLVL製造機械の更新に係る補助金
- 令和3年度補正予算
臨時特別給付金事業
1億224万円
- 住民税非課税世帯等に10万円を給付
- 子育て世帯に5万円を給付（2回目）
- 道路維持管理事業
1億2200万円
- 除雪経費の増加に伴う委託料の増
- 木材産業競争力強化対策事業
7000万円
- (株)オロチのLVL製造機械の更新に係る補助金
- 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
- 製造業者等が設備等を取得した際の固定資産税を3年間免除する規定の整備
- 寄付金税額控除の対象団体に特定非営利活動法人「未来」を追加
- 税条例の一部改正
- 工事請負契約の変更
工事名 林道船通山線落石対策工事（2工区）
請負金額の変更
4,562千円を増額して52,919千円。

第1回臨時会

1月19日

身近な話題を町政に 意見交換会を開催

令和3年11月に実施しました「議会報告会および意見交換会」
でいただいたご質問やご意見について、各常任委員会や特別委員
会で検討し、その結果をまとめました。

実施会場
■山上地域振興センター
■文化センター多目的ホール



多目的ホール（11月20日）

意見交換会
意見交換会で町民の話を聞いた以上は、議会は町民の意見を町長にしっかり伝えてほしい。
問 意見交換会では、議会は町民の意見を町長にしっかり伝えてほしい。
答 皆様からいただいた意見は、委員会等で協議し、町政に活かしていく。

問 今年の議会報告会はなぜ2か所なのか。
答 参加者が固定され、参加人数も減少してきた町内の団体等との意見交換会を3班に分かれて実施している。議員全員が参加する議会報告会及び意見交換会と団体との意見交換会の2本立てで行っている。

問 今年は山上と日野上で意見交換会を実施したが、来年は石見・福栄か2か所を考えている。
答 2か所を考えている。

議会放送
問 YouTubeで本会議の一般質問以外のものも配信してほしい。
答 YouTube配信はニーズを把握しながら検討する。

セントラルファーム
問 セントラルファーム問題の原因究明を求めたきたが回答がない。
答 県が大学に要請して調査中である。最終報告を受けた後対応を協議したい。

問 セントラルファームの下流で鯉が死んでも会社から謝罪の一言もない。
答 鯉が死んだ原因は特定されていないが、農家はPHが下がった説明をする必要がある。

問 セントラルファームの場長が9月に辞めた。新場長はいつ着任するのか。
答 新農場長予定者が体調不良で着任できなくなった。当面副農場長2名体制となる。

選挙公営
町長、議会議員の選挙における選挙費用の公費負担について、条例制定の基礎となる金額の説明を受け協議。

山陰合同銀行生山営業所の移転
標記営業所を役場庁舎内に移転する経過、方針について説明を受け、配置場所等を協議。（ITルームと倉庫を改造）

町発注工事の調査依頼
昨年11月に町民から依頼があった「町が発注した工事の監督業務など」について、経済福祉常任委員会の調査を終了したとの報告があった。

問 セントラルファームの汚水が大宮の井戸水にも影響していないか。
答 地元自治会からの要望により宝谷川上流で年2回3ヶ所で測定しており、数値は適正である。

旧阿昆線小学校用地の契約
問 死亡事故があった阿昆線の育苗施設の契約を7月14日に遡って結ぶのはありえない。
答 事前に協議を続けており契約の日付は7月14日で良いと判断した。

議員報酬
問 平成30年に公聴会で意見を述べ、報酬引き上げを提案したが西部地区報酬審議会で引き上げは認められなかった。その後、議会は町独自で審議会を持つべきと決定し、町長に要望書を提出したが、そのままになっていないのか。
答 町独自の報酬審議会の設置を町長に働きかけて行く。



立ち上げにむけた熟議

コミュニティ・スクール
問 コミュニティ・スクール（CS）の意見交換会は12月でようやく2回目だが、来年からCSを開始できるのか。
答 12月9日の総務教育常任委員会で聞き取りを行い、予定通り進んでいることを確認した。

コミュニティ助成
問 コミュニティ助成交付金（現在は事業名「地域活動支援交付金」）はいつまで継続されるのか。恒久的な制度か。
答 条例の制定を強く求めている。

全員協議会



新屋地区第8改良工事 R3.12.12撮影

整備が進む鍵掛道路

1月13日
◆新型コロナウイルス感染症拡大に係る経済対策
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について説明を受けた。（1月臨時会議案）

2月10日
◆日野郡ふるさと教育推進コーディネーターの人事および契約について、説明を受け質疑。

◆新型コロナウイルス感染症拡大に係る経済対策
令和3年度当初からの国の臨時交付金を活用した事業の実績および今後の予定について説明を受け質疑。

◆地域活動支援交付金
令和4年度からの地域活動支援交付金について説明を受け質疑。（4年度予算）

◆消防団員の処遇改善
消防団員確保のため、報酬等の引き上げを行うことについて説明を受けた。（4年度予算）

◆新型コロナウイルス
3回目のワクチン接種、小児の接種状況および、鳥取県の委託を受けて日南病院で3月末まで、無料でPCR検査を行うことについて説明を受けた。（無料PCR検査は、4月30日まで延長）

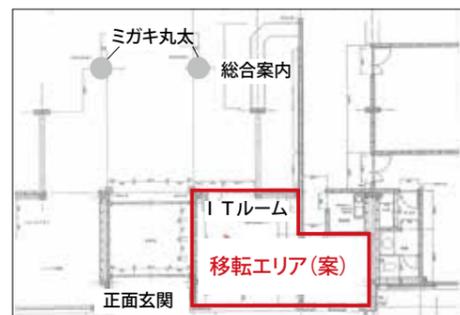
◆病院職員再任用に係る民事訴訟
標記事案について、病院側に瑕疵が無かったと判決が下された内容について説明を受けた。相手方は控訴している。

◆南福祉会使用料
あかねの郷などの施設負担金は、日南福祉会の収支状況が黒字の場合は、収益の20%を徴収する。赤字の場合は、従来どおり減免するとの説明を受けた。

3月16日
◆町営バスの運行管理
昨年11月から車検、自賠責保険の有効期限が切れた車両を事業者に貸与運行させていた事案について、経過説明および今後の対応について説明を受け、質疑した。

◆山陰合同銀行生山営業所の移転
標記営業所を役場庁舎内に移転する経過、方針について説明を受け、配置場所等を協議。（ITルームと倉庫を改造）

◆選挙公営
町長、議会議員の選挙における選挙費用の公費負担について、条例制定の基礎となる金額の説明を受け協議。



日	内容
10日	全員協議会
24日	経済福祉常任委員会 議会運営委員会
(2月)	
2日	3月定例会本会議
3日	3月定例会本会議 (一般質問)
4日	3月定例会本会議 (一般質問)
7日	議会広報常任委員会
8日	予算審査特別委員会
9日	予算審査特別委員会
10日	予算審査特別委員会
11日	予算審査特別委員会
14日	総務教育常任委員会
15日	経済福祉常任委員会
16日	全員協議会
18日	住宅政策及び中心地域整備調査特別委員会
24日	3月定例会本会議 全員協議会
(4月)	
5日	議会広報常任委員会
8日	議会広報常任委員会
12日	議会広報常任委員会

議会活動報告

花見山

問 源流の安全確保のため花見山を町が購入するの
か。
答 議会にはまだ説明がない。

町発注工事

問 庁舎の空調設備の工事は孫請けまでもしても業者が儲けている。やり方を考えては。
答 法令、規則に則り執行されている。

こども夢基金

問 こどもゆめ基金などで新しい事業を進めるため、いらぬ事業を減らしてスリム化する必要があるのでは。
答 事業評価をしながら行われている。

地域おこし協力隊

問 複業協同組合を日南町でも取り入れてはどうか。
答 町長は積極的に活用したいと発言しているが、

動きがない。

問 地域おこし協力隊の採用と定住への取り組みは。
答 制度設計を見直し、魅力あるものをもとめていく。

まちづくり協議会

問 地域おこし協力隊員を採用しまち協で仕事をしてもらえば良いという意見があったが、最近ではまち協会長の辞令交付さえも行われていない。また無報酬でもある。
答 会長は、町との協議や研修会への出席など多くの業務がある。来年度から辞令を交付し責任をもたせ報酬を出すべき。
まち協が頑張らなくては町が成り立たないという認識が低い。

問 いろいろなイベントは例年2週間であったが、今年は3週間の開催であった。事務長、支援員は大変であった。16日から多くの人は役場から歩いた。1万人は突破していると思う。
答 各まち協へ一括交付金で配分されているので、会長の報酬は各まち協で検討されるべき。
会長へ令和4年4月1日付けで辞令交付する。

問 駐車場に入れない。帰る人もいたはず。無料バスを使った評価は。近くに駐車場確保が必要。
答 〇バス5台を配置した。だが、平日にも多くの人が来場。まち協ではこれ以上対応できない。文化センターのレストランや道の駅は繁盛していた。
〇智頭町の職員が3人、2日間、いちようイベント来場者にインタビューをしていた。町職員もその意気込みを見習うべき。



賑わう いちようイベント

問 各まち協へ一括交付金で配分されているので、会長の報酬は各まち協で検討されるべき。
会長へ令和4年4月1日付けで辞令交付する。

灯油代の補助

問 灯油代を県が補助を検討しているが、町が補助するのが前提である。町はこの補助を行わないのか。
答 いちようイベントは、来年度観光協会の事業として計画を予定している。

問 灯油代の補助は考えていないが、住民税非課税世帯に10万円の補助を1月の臨時会で決定した。継続を提案する。
答 議会発議で条例化した補助事業の継続を求める。3月定例会にて延長継続を提案する。

インフルエンザ予防接種

問 インフルエンザの予防接種が今年19歳から64歳は全額自己負担だが、そうなら経緯は。
答 予算編成の中で、事業スクラップの検討結果リスクの高い高齢者と小児のみを対象とすることにした。

ちゃんねる日南の文字放送

問 ちゃんねる日南の文字放送は何十項目もあり、最初から最後まで見るとかなりの時間が必要(苦痛)。ホームページにも掲載すべき。
答 企画課に文字放送を

ホームページに掲載すべきと提案する。

JRのイベント

問 JR 100周年のイベントが日野郡内で行われ、他町の職員がスタッフとして活躍していたが、生山駅、上石見駅の100周年を控えている日南町職員の参加がなかった。
答 町の体制として準備してほしい。



J R 生山駅

問 グリーンシャインの町所有株はグリーンシャイン株の35%を保有している。そういう会社が入札

問 参加するのはどうなのか。株式の売却を考える時期では。
答 入札の参加については問題はないと考えている。株式の売却については現在考えていない。

J A の動き

問 農協が赤字部門の奨励金をいきなりカットしたり、そばの刈賃を上げたりする。もっと工夫してはどうか。
答 農協の関係者で協議をしていただきたい。

米価の下落

問 令和3年産の米価が下落しており、JAの概算金の支払いも下落した。議会の国・県への動きはあるのか。
答 米価安定のために国で一定数量の隔離対策等を求める意見書を提出した。

木材団地のバイオマス発電建設

問 木材団地のバイオマス発電建設が1年延期と

なった、議会はどう捉えているのか。
答 事業計画の見直しのため事業開始が1年遅れるとの報告を受けたが新たな工程表はまだ提出されていない。

霞自治会で説明会を

問 霞自治会で説明会を何回も行った。変更があれば自治会長にすぐに文書で報告すべきである。株式会社でなく合同会社であることに不安がある。
答 延期については自治会に報告がないのは遺憾である。合同会社であることとの不安については、今後調査、検討する。

協定書の原案は平成

問 協定書の原案は平成2年12月にほぼ固まった。自治会としてはいつでも締結できる状況である。
答 協定書については、事業者から新規の計画書が出た時点で改めて町、事業者、自治会の3者で協議をしていただきたい。

第1団地の水源確保

問 第1団地の水源確保のために掘削した井戸水は工業用水に適さない水と聞いているが、工事の遅れ等との関係は。

問 井戸掘削の目的は第一団地の水源確保であった。水質調査の結果は工事用水としては不適であったが、工事の遅延とは関係がなく第一団地からの給水も視野に入れている。
答 気候危機を心配している。小さな町ではあるがCO2削減を本気で考えないと、子供、孫の生活が脅かされ続ける。ゴミ問題を含め、本気に考えて(ゴミ減量化、燃やす量を減らす)地球を守るという意識を町民の中に根付くよう先頭に立ってほしい。CO2削減のために議員も研修を進めていく。

環境問題

問 気候危機を心配している。小さな町ではあるがCO2削減を本気で考えないと、子供、孫の生活が脅かされ続ける。ゴミ問題を含め、本気に考えて(ゴミ減量化、燃やす量を減らす)地球を守るという意識を町民の中に根付くよう先頭に立ってほしい。CO2削減のために議員も研修を進めていく。



清掃センターのごみピット

農業体験者の受け入れ

問 就農を希望する若者への窓口を広げるため、農業体験できる場所と、女性の利用も想定した住居をパッケージ化して欲しい。
答 産業振興センターの事業の中で、移動も考慮した体験場所と住居の検討を町へ求めていく。

電算のセキュリティ対策

問 徳島県内で病院カルテシステムがサイバー攻撃によりコンピュータウイルス感染し使えなくなったと報道されている。日南病院や役場のシステムは大丈夫なのか。
答 日南病院の電子カルテシステムはインターネットに接続されているが、L2TP/Psecという接続方式により不正侵入を防いでいる。また、役場の回線はインターネット用、一般行政事務用、マイナンバー用が独立しているのでネットワークセキュリティは保たれている。しかし、USBメモリの持ち込みなどによる人的な対策は重要である。

道 どっこい、この町に生きる 草

農業も子育てでも中国山地のド真ん中！

長谷川 直人さんファミリー（霞）



写真右から妻の彩湖^{あやこ}さん、海律^{かいり}くん1才、
楓^{ふうき}貴^きくん5才、朔^{さく}也^やくん6才、写真後ろに
天音^{あまね}くん11才、直人^{なおと}さん

東京・葛飾区から日南町へ
日本大学芸術学部を卒業後、3
年間テレビドラマの制作現場で働
いていましたが、先の見えない業
界だと感じていたので転職を探し
ていました。
農業研修制度の第一期生
13年前、日南町のことを知り2
年間農業研修生として学び、すべ
に農業の現場に飛び込みました。

ものづくりはいろいろ体験

水稲、トマト、ピーマン、ホウ
レンソウ、リンゴなど泥から生ま
れて生産する物は、いろいろ作っ
てきました。

子どもたちにバレーボール

新しい町民体育館ができたので
「日南JVC」チームで小学生に
週3日間、バレーボールを教えて
います。

結婚を機に霞の新居へ

今は、妻の母と3世代で暮ら
してしています。保育園や小学校
に歩いて通えるのでとても気に入
っています。休日に子どもとの遊
べる場所がもつとあればいいです。

健康がいちばん

3年前の年末に「くも膜下出
血」で鳥取大学医学部付属病院に
入院して治療をしました。その後
は良好ですが、大切な家族や農業
を続けるためにも体調管理をきち
んとやります。

農業の将来展望は

世の中がどんな情勢になつてい
たとしても、人が生きるためには、
まずは食べ物。しっかり作ってい
きたい。



農業法人の種まき



編集後記

今年度は管理職の顔ぶれが、
大幅に変わりました。人を指導
するというのは大変だと思いま
すが、信頼関係を築く心構えと
して、山本五十六の名言に次の
様な言葉があります。

言つて聞かせて
させてみて
誉めてやらねば
人は動かじ

前例や、マニュアルを参考に
するのではなく、やつて見せて
から、任せてやらせてみる事
ではないでしょうか。

荒木 博 記

発行責任者

議長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 近藤 仁志 |
| 副委員長 | 檀田 洋一 |
| 委員 | 久代 安敏 |
| 〃 | 荒木 博 |
| 〃 | 岡本 健三 |
| 〃 | 坪倉 勝幸 |